



## 「町おこシネマ」上映会～2013 in えびな～

全国から選りすぐった「町おこシネマ」を上映します。上映作品は以下のとおり。全部を見たい！1本だけでも見てみたい！どんな方でも歓迎です。ご当地ムービーが集まる貴重な機会に、ぜひご鑑賞ください。また、会場では海老名市の特産品販売のほか、「森の楽校」の入会受け付けも行います。

- ▶日時 3月30日(土)13時45分～、31日(日)12時～
- ▶会場 えびな市民活動センター「交流館」1階ホール
- ▶定員 先着200人
- ▶費用 無料

▶申し込み 3月1日(金)から、住所・氏名・電話番号・映画名(団体の場合は、代表者の住所・氏名・電話番号・参加人数)を、直接または電話・ファクス・ホームページで環境みどり課へ(申し込み用紙は市ホームページからダウンロード可)。3月15日(金)締め切り。  
※入場は各上映開始時間の15分前からとなります。

**3月30日(土)** 「TAKAMINE ～アメリカに桜を咲かせた男～」  
13時45分～(上映時間105分)

---

**3月31日(日)** 「万年筆」  
16時～(上映時間72分)

**3月31日(日)** 「森の楽校設立」  
12時～(上映時間15分)

---

**3月31日(日)** 「桜田門内の変!？」  
13時～(上映時間84分)



Check

「TAKAMINE」あらすじ  
ワシントンのポトマック河畔とニューヨークのハドソン川の岸辺に咲く6,000本の桜の苗木を、戦火の中にもかかわらず日本から届けた、高峰譲吉博士とシドモア女史の歴史を描いた物語。



「森の楽校設立」あらすじ  
12万5000本の植樹を行った「えびなの森創造事業」を継承する市民の組織、「森の楽校」。えびなの森創造事業を振り返りながら、森の楽校設立までを追う。

※森の楽校のPRイベントも開催します。

Check



「万年筆」あらすじ  
それぞれの目的をもって富山県氷見を訪れた男女が偶然出会い、赤いオープンカーに乗って氷見の町を観光することに。美しい自然と素朴な町並みが2人を優しく包みこんでいくが…。

Check



Check

「桜田門内の変!？」あらすじ  
『桜田門外ノ変』の映画を市民で作りますか?茨城県庁に突如として現れた映画プロデューサーを名乗る男。半信半疑で話をする観光物産課の女性係長。次第に係長もプロデューサーの熱意に触発され映画製作に邁進していく。しかし、男はある思いを胸に秘めていた…。

## えびな市民活動センター「交流館」オープン記念イベント

第3弾

# 環境講演会 & 「町おこシネマ」上映会 ～2013 in えびな～

交流館外観



【所在地】 さつき町51番地の2 (厚木駅から徒歩約10分)

えびな市民活動センター「交流館」が、3月1日に開館しました。このオープン記念イベント第3弾として、環境講演会と「町おこシネマ」上映会を開催します。ぜひ、ご家族、ご友人と一緒に楽しみください。



## 環境講演会

### 「自然と町が共存する環境都市と今後のシティセールス」

12万5,000本の植樹を行った、えびなの森創造事業を継承する「森の楽校」が昨年11月に開校し、本格的な活動を始める準備を進めています。今回、かながわ環境大使で、「森の楽校」スペシャル・アドバイザーに就任した歌手の白井貴子氏をお招きし、自然と町が共存する環境都市を目指す活動を中心テーマとした講演会を行います。また、同講演会には、映画監督の市川徹氏も参加。緑豊かで交通の利便性も高いまち海老名の可能性や、循環型社会における活動を発信する手法について、全国の「町おこシムービー」を紹介しながら考えます。また、講演会終了後には、市川監督作品「さくら、さくら～サムライ化学者 高峰譲吉の生涯～」を上演します。

- ▶日時 3月30日(土)10時～13時15分(開場9時30分)  
※映画上映は11時～(上映時間134分)
- ▶会場 えびな市民活動センター「交流館」1階ホール
- ▶定員 先着200人
- ▶費用 無料

▶申し込み 3月1日(金)から、住所・氏名・電話番号(団体の場合は、代表者の住所・氏名・電話番号・参加人数)を、直接または電話・ファクス・ホームページで環境みどり課へ(申し込み用紙は市ホームページからダウンロード可)。3月15日(金)締め切り。



白井貴子氏  
森の楽校スペシャル・アドバイザー  
かながわ環境大使  
藤沢市出身。平成22年、神奈川県で初の開催となった全国植樹祭でテーマソング「森へ行こう!」を作詞・作曲。今回の町おこシネマ上映会上映作品「TAKAMINE」の主題歌を担当したほか、自身も北里柴三郎の妻役で出演している。



市川 徹氏  
日本映画監督協会所属  
横浜市出身。日本一の低予算、早撮り監督。平成5年に映画監督デビュー後、制作した作品は100以上にのぼる。自身監督作品の「万年筆」を、今回の町おこシネマ上映会で上映する。

会場には駐車場がありません。公共交通機関をご利用ください。※車でお越しの方は、市役所西側催事広場を駐車場として開放しますのでご利用ください。